



肺炎球菌ワクチンで 高齢者の肺炎予防

～70歳以上の方は
無料でワクチン接種を受けられます～

肺炎は日本人の死亡率の第4位です。75歳を超えてから肺炎による死亡率は男女ともに急激に増加します。肺炎の約半数が肺炎球菌によるものといわれています。肺炎球菌による肺炎を予防するには、予防接種が有効です。(約80%は予防できると考えられています。)

肺炎球菌ワクチンは、通常5年程度有効と考えられています。

なお、再接種については、接種部位が腫れるなどの副反応が強く出ることから、前回接種から十分な間隔をあける必要があります。(特に、5年以内に再接種すると、副反応が起きやすいことが報告されています)

◆対象者 福島県内に住所を有する方で、70歳以上の方。

(震災時に福島県に住所を有していた方を含む平成24年3月31日までに70歳以上になる方。ただし一部市町村にお住まいの方は除きます)

◆費用 無料(日本赤十字社の支援活動)

◆期間 平成24年3月31日まで(平成23年度のみ)の助成です)ただし、接種予定数(約19万人分)に達し次第終了いたします。

接種できる医療機関は下記にお問い合わせください。

◆問合せ先 健康福祉課 ☎62-2115

広告

つらい つらい
誰にも話せない
借金の悩み…

ご相談ください
秘密は厳守
いたします

司法書士法人 あおば事務所

福島事務所: TEL024-533-0243 福島市南中央3丁目7-2
須賀川事務所: TEL0248-72-7057 須賀川市岡東町177

ま 鏡石町の期待の星 ちのホープ

今月は、家族で環境に配慮したコメ栽培を行う和田守央さんにお話を伺いました。



お名前
和田守央さん(26)

お勤め先
自宅コメ農家

業種 農業

Q: 農業を継ごうと思ったきっかけは?

昔から両親を見ていて、なんとなく継ごうとは思っていましたが、学生の時にスーパーの米と自宅の米を食べ比べたときに、こんなにうまい米を親父たちは作っていたのかと感激したのがきっかけといえそうです。

Q: 仕事で大変なことは?

現在就農3年目ですが、機械の扱いに苦労する部分があり、注意を受ける事もあります。なので、迷惑をかけている分、収穫期のみすり時期には、3時には作業を始められるように頑張っています。

Q: 水を大切にしている農法を教えてください

水の入れ替えを一度しかやらずに代かきをやっています。そうすると、田んぼに引き込む水の節約にもなりますし、周りの環境にもいいんです。それに作業効率も上がるんですよ。

Q: 仕事の合間には何をしていますか?

最近ゴルフを独学で始めました。家のすぐ近くの練習場で打ちっぱなしに何度か行っています。ボールがうまく飛ぶと気持ちいいですね。

Q: これから先どんな農家を目指していますか?

まだ、漠然としかイメージできていませんが、将来はコメ栽培だけでなく、米粉の活用や自家栽培の野菜なども使って加工業もやってみたいと思っています。

このコーナーにご協力いただける方を募集します。職場のホープをご紹介ください。
問合せ先: 町総務課(☎62-2111)

広告

所得申告の時期が近くなりました。今から準備!
☆農家、商店の経営者、法人、年金受給者の方々の記帳及び決算書作成代行を承ります。
☆農地など土地名義変更、相続、遺言、登記手続、借金返済の悩み…などなどご相談ください。

須藤勝行政事務所

(行政書士) 須藤 勝(元 町役場職員)
(住 所) 鏡石町不時沼294
(TEL) 62-3381



▲実家が1小のすぐそばという北原さんのご厚意で今回の企画が進められました

11月4日(金)町立第一小学校校体育館で、童謡「さつちゃん」や「いぬのおまわりさん」などの作曲を手がけ、日本を代表する作曲家大中原さんとソプラノ歌手北原聖子さんから鏡石の子どもたちのために歌が贈られました。
大中原さんの奥様北原さんは一小の卒業生で、当初は音楽鑑賞会を予定していたそうです。その後、大震災が発生し、現地を訪れた大中原さんは、プレハブ校舎で一生懸命勉強する子供たちを見て歌を贈ることにしたそうです。

作曲家 大中原さんから 鏡石の子どもたちへ 歌の贈り物



▲大中原さん(右)、詩人の山岸千代栄さん(左)のお二人が10数回の推敲を重ね、町の子どものために作られました

この歌は、震災や原発で大変な思いをしている子供たちに、未来はきっと素晴らしい

鏡石の子どもたち

作曲 大中原 作詞 山岸 千代栄

(各句の頭文字をつなげるともう一つのメッセージが)

たのしいときも
くるしいときも
くれないでチャレンジ
だれぞくらにはげまされ
くやしさをなしたみりこえて
やりとげにひびきあうウタ
つかりとどげようありがとう
いつまでも明日を信じて歌おう
かがやくえがお
かんばるなま
みあればあおぞら
いあせまきばに朝が来て
しあわせあふれる鏡石
のびと僕たち私たち
このをむすびあうウタ
こどもとどげようありがとう
も一度明日を信じて歌おう

飲む前に必ず確保 ハンドルキーパー

～年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動～

運動期間 平成23年12月10日～平成24年1月7日

この時期は、交通量が増大し、また飲酒する機会も増える季節です。町の関係団体では、交通安全を呼びかけ、悲惨な交通事故0を目指しています。

◎飲酒運転の根絶



ハンドルキーパー

運動の重点

◎すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



◎夕暮れ時と夜間の交通事故防止



町交通安全対策協議会、交通安全協会、交通安全母の会では、期間中、上記3点を運動の重点に、年末年始の事故が多発する時期に、町民の皆さんが安心して過ごせるよう、各種運動を展開していきます。
運動では、須賀川警察署と連携し、飲酒運転の根絶を各飲食店や町民へ呼びかけたり、シートベルトの着用や夕暮れ時、夜間の事故防止を呼びかけていく予定です。
また、県内全域で高齢者の死亡事故が多発しています。特に夕暮れ時から夜間にかけて事故が発生しています。外出時には、車から発見されやすい服装や反射材を活用しましょう。町では、歩行者用の夜光反射材を無料で配布していますのでご利用ください。
◎問い合わせ先
総務課 ☎62-2111